

異文化体験が自分を変える。

韓国との異文化体験・交流を通じた日本文化とあなたの自身の再発見を！

文化言語学部文化言語学科
助教授 中川明夫



日本と韓国(朝鮮半島)は、平安時代以前までは人・物的に大きな影響をうけ合っていました。現在では両国で「日流」「韓流」「ブーム」が起こり、さまざまな文化交流が盛んになりました。熊本にも沢山の韓国人が訪れています。

尚総大学にも韓国から大学生が訪れることが多くなり、本校の学生がホームページや観光案内のサポートをしたり、韓国語の授業と一緒にするなど、「日韓親善交流」を楽しく有意義に行ってています。今年の五月と七月にはソウルで観光日本語通訳学を専攻している大学生が本校を訪れました。お互いに韓國語で話をした後、各自の専門知識を交換する中で、ほとんどの学生が「今まで学校で学べなかったことが実体験を通して分かってきた」「初めて心配したこと、すぐに対応された」「自分の文化をもっと伝えたかった」と語っていました。また、早速、日本語や韓国語でメールのやり取りをしている学生も少なくあります。この姿に接して、異文化を体験する学生も少なくありません。

尚総大学の学生の中には、市主催の韓国体验旅行に参加したり、個人で韓国の知人の家にホームステイしたりして、大学で習った韓国語を使ったり、語でメールのやり取りをしている学生もいます。こういう姿に接して、異文化を体験し、その國の人達と交流して初めて理解できるものだと改めて実感させられました。

尚総大学の学生の中には、市主催の韓国体验旅行に参加したり、個人で韓国の知人の家にホームステイしたりして、大学で習った韓国語を使ったり、語でメールのやり取りをしている学生もいます。こういう姿に接して、異文化を体験し、その國の人達と交流して初めて理解できるものだと改めて実感させられました。

韓国と韓国(朝鮮半島)は、似通っているだけではなく、外見は似通っています。日本と韓国。しかし、お互いの環境に飛び込んで見ると、意外と大きな環境に飛び違ひが浮き彫りにされます。そういう体験を通じてこそ、日本人としてのアイデンティティがより深く認識できることではないでしょうか。新しい文化の魅力を発揮するには、自分たちの文化を理解して、それを他の文化と対話し合うことで、自分たちの文化を理解するのです。

尚総大学の学生の中には、市主催の韓国体验旅行に参加したり、個人で韓国の知人の家にホームステイしたりして、大学で習った韓国語を使ったり、語でメールのやり取りをしている学生もいます。こういう姿に接して、異文化を体験し、その國の人達と交流して初めて理解できるものだと改めて実感させられました。

「中国書の旅」 中国の大学との交流

文化言語学部文化言語学科書道コース
助教授 伊織洋一

書を通じた日中交流

文化言語学部文化言語学科
講師 和田美穂



書道コースは例年三年生を対象とした「中国書の旅」を実施してきました。ただ今年は新しい試みとして中国の大学との書の交流を計画し、天津市の南開大学、北京市の首都師範大学の二大学への訪問が実現しました。

お互いに初めての書道交流のため戸惑いもあり、解説を聞きながらの鑑賞や、南開大学では朱先生の講義の受講、さらに首都師範大学では中国でトップクラスの欧阳中石先生の作品制作が偶然見でき、大変有意義でした。学生諸君も、南開大学での晩餐会中における筆談をえた楽しい交流や、首都師範大学の院生の熟達した技法を見ることができましたことは、これから学生生活に大きな刺激になると確信しています。また、両大学には博物館があり、解説を聞きながらの鑑賞を中心とした楽しい交流会を持つことができましたことは、誠に喜ばしいことと思つております。また、両大学には博

ともあれお互いに「書の旅をより印象を得ることがであります。また、両大学には博覧修習の有意義な体験の研修に意を用いています。

「文化」の交流こそが欠かせないというこ

尚総大学 文化言語学部カリキュラム

■専門教育

日本コース

書道コース

米英コース

英語コミュニケーション

1年次	2年次	3年次	4年次

下記の表以外に、教員免許および司書・司書教諭の資格取得のためのカリキュラムが組まれています。

取得資格 <日本コース、書道コース>

高等学校教諭一種免許状(国語・書道)、中学校教諭一種免許状(国語)

<米英コース、英語コミュニケーションコース> <全コース共通>

司書・司書教諭

黒: 各コースの基本科目 黄: 各コースの特色のある科目 紫: 幅広い学習を促すための多彩な科目

■教養教育

教養教育科目

1年次	2年次	3年次	4年次

【専門教育】 日本の文化やことをその源流から掘り下し、「美しくかつたしなみ」をもって運用できる素地をつくり、日本の書・文学といった分野における、中国・韓国をはじめとした東アジアとの接点を探り、実践的に日本の美しい「ことば」と「たしなみ」を発信していきます。一方、アメリカを中心とした英語圏の言語・文化を咀嚼し、留学や異文化形式の発音を通して幅広く発信していきます。

【教養教育】 美しい日本の「ことば」と文化の「たしなみ」を充実していくために、基礎的な学力、とくに、論理・技術・表現力を、4年間を通して着実に実践的に学んでいます。また、尚総学園の教育理念に基づき、「たしなみ」をもった女性としての昂昂と系索を責めています。